

生態工学 2016 年第 3 回理事会議事録

日 時：2016 年 2 月 26 日（金）14:30～15:20

場 所：東京文化会館

出席者：会長、副会長、各委員会委員長および庶務理事

【総務委員会】

2015 年度総務委員会活動報告(2月期)

(1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。

(2) 報告事項

- ・生態工学ハンドブック送付状況に関して下記の様に報告があった。

会員送付 146 冊

購入 34 冊

新入会 3 冊

(3) 審議事項

- ・後援依頼に関して

公開シンポジウム「都市の公園や未利用空間を利用した都市農業の可能性」後援
に関し承諾された。

- ・宇宙惑星居住科学連合加盟に関して

宇宙惑星居住科学連合加盟に関して、設立経緯および会の趣旨に関して北宅副会
長より説明があり、学会として加盟する事が了承された。
なお当面の窓口として北宅副会長が担当する事となった。

- ・賛助会員入会希望に関して

クリムゾンインタラクティブより入会に関する問い合わせがあり、同社のサービ
スである「英文校閲」「論文翻訳」の該当ページ(2箇所)のリンクを条件に賛助
会員入会の希望があり、学会はこれを了承した。

以上

【編集委員会】

2015 年度編集委員会活動報告(2月期)

(1) 生態工学会誌の発刊

下記の報告がなされた。

生態工学会誌「生態工学」27 巻 2 号～28 巻 1 号(2015 年 4 月、7 月、10 月、2016 年 1 月発刊)を発行した(内容:原著論文 10、短報 3、特別寄稿 1、ニュース・企画・報告 2、お知らせ、投稿規程、総ページ 143)。なお、2016 年 1 月 19 日時点での査読中の論文は、原著論文 1 報、受理済み原著論文 1 報である。

また、28 巻 1 号までを J-STAGE 上の電子ジャーナルとして公開した。さらに、27 巻 4 号より閲覧権限を変更し、過去 1 年を会員のみ閲覧可、それ以前の号を一般公開とした。

2015 年度「生態工学」掲載論文一覧

種類	第 27 巻			第 28 巻
	2	3	4	1
特別寄稿		1		
特集論文				
原著論文	2	4	1	3
短報	1	1	1	
総合論文				
解説・資料				
受賞記念寄稿	1			
ニュース・企画・報告	1			1

(2) 生態工学会誌投稿規定の見直し

Web 上の投稿規定に関し、不備を修正する見直しに着手した。

以上

【企画委員会】

2015 年度企画委員会活動報告(2月期)

下記の報告がなされた。

(1) 日本地球惑星科学連合2015年大会(合同開催)

日 時: 2015年5月24日(日)～5月28日(木)

会 場: 幕張メッセ(千葉市)

主 催: 日本地球惑星科学連合

特記事項: 5月24日(火)にセッション「惑星と閉鎖生態系における生物のシステム—微生物からヒトまで」において、5件の口頭発表と5件のポスター発表を実施。

(2) 2015年度生態工学会年次大会 (主催)

日 時：2015年6月27日 (土) , 28日 (日)

会 場：明治大学黒川農場 (神奈川県川崎市)

参加数：90名

特記事項：一般セッション口頭発表 15課題、ポスターセッション25課題

オーガナイズドセッション「研究者の生活 - 世代を超え伝えたいこと・知りたいこと」 (次世代科学社会活性化委員会)

特別講演会「黒川農場からみた資源循環型農業の今と今後」

1. 廃液中の肥料成分量を低減させる培養液管理法 岡部勝美 (明治大農場)

2. 身近な資源、尿の利用 ○小沢 聖(明治大農場)、

後藤慎吉 (国際農林水産業研究センター)、Samuel M. Contreras (Bureau of Soil and Water Management Philippine)、中西康博 (東京農業大)

3. 水の力でゴミを肥料に-亜臨界水処理による有機液肥製造の試み-

○藤原俊六郎、小沢 聖、鈴木千夏、七夕小百合 (明治大農場)、

朽本信彦 (フジムラインベント(株))、玉置雅彦 (明治大農学部)

(3) 農業環境工学関連5学会2015年合同大会 (共催)

日 時：2015年9月14日 (月) ~18日 (金)

会 場：岩手大学 (岩手県盛岡市)

特記事項：オーガナイズドセッション 16テーマ、一般発表、ポスター発表等

合同シンポジウム「東日本大震災からの地域と農業の復興」

仙台平野沿岸部における水田農業の復興

／大谷隆二 (農研機構 東北農業研究センター)

ローテクを生かせ！ ~身の丈に合った農業振興~

／松嶋卯月 (岩手大学農学部)

放射性物質汚染からの農業復興を目指して

~元飯舘村職員が見た現実と未来~

／万福裕造 (国際農林水産業研究センター)

主役は誰か？ ~コミュニティづくりの取り組み~

／船戸義和 (岩手大学三陸復興推進機構)

(4) The Joint Conference of 6th ISPS and 10th ITTW (協賛)

日 時：2015年 9月14日 (月) ~ 9月18日 (金)

会 場：同志社大学 (京都市)

主 催：日本マイクログラフィティ応用学会

特記事項：17日(木)に「Beyond the ISS」セッションで全11件中当学会より4件講演。

講演会自体には20ヶ国より約250名が参加、約半数が国外からで盛会であった。

(5) 第59回宇宙科学技術連合講演会 (共催)

日 時：2015年10月7日 (水) ～10月9日 (金)

会 場：かごしま県民交流センター (鹿児島県鹿児島市)

主 催：日本航空宇宙学会

特記事項：オーガナイズドセッション「宇宙で生きる！」を企画。8日(木)に11件の講演、参加人数は30人ほどだったが例年になく議論が活発であった。講演会自体には900名以上の参加、次回は2016年9月函館が予定されている。

(6) 定例シンポジウム (主催)

日 時：2016年3月4日 (金)

会 場：千葉大学柏の葉キャンパス (千葉県柏市)

特記事項：日本生物環境工学会関東支部見学会と共催

講 演：わが国の植物工場の現状と課題

／古在 豊樹先生 (NPO法人植物工場研究会理事長)

宇宙農業の実現に向けて－閉鎖生態系研究の現状と課題

／北宅 善昭先生 (大阪府立大学)

施設見学：植物工場千葉大学拠点 (人工光植物工場など)

(株)M I R A I 柏の葉第2グリーンルーム

(7) 2016年度生態工学会年次大会 (予定)

日 時：2016年6月24日(金)～25日(土)

会 場：宮崎グリーンスフィア壱番館 (KITEN) コンベンションホール

(8) 定例研究会

第1回

テーマ：高宇宙環境耐性を有する陸棲藍藻 *Nostoc* sp. HK-01

日 時：2015年5月29日 (金)

会 場：東京文化会館

講 師：木村駿太先生 (若手の会代表、筑波大生命環境)

第2回

テーマ：宇宙エレベーター建設構想

日 時：2015年10月27日 (火)

会 場：東京文化会館

講 師：石川洋二先生 (大林組宇宙エレベーター要素技術実証研究開発チーム幹事)

第3回

テーマ：宇宙惑星居住科学と生命維持技術

日 時：2016年2月26日 (金)

会 場：東京文化会館

講 師：桜井誠人先生 (JAXA)

以上

【表彰委員会】

2015 年度表彰委員会活動報告(2月期)

(1) 2016 年度生態工学会学会賞受賞候補者の選考結果について
下記の報告がなされた。

1) 受賞候補者の募集

- 募集期間：2015 年 4 月 1 日～10 月 31 日（学会誌，学会ホームページ）
- 募集結果：推薦 4 名（学術賞 1 名，論文賞 1 名，奨励賞 2 名）

2) 表彰委員による選考

- 選考期間：2016 年 2 月 15 日～2 月 26 日
- 選考結果：下記のように決定した。

賞種類	氏名	対象件名
生態工学会賞 学術賞	宮嶋 宏行	閉鎖環境生命維持システムに関する研究
論文賞	中林 和重	低肥料施用下で土耕栽培されたオオムギの生体電位 自動検出に連動した 20 Hz 赤色点滅光照射による成長 の改善
奨励賞	Tonglaga Tao	関東地域における土地被覆タイプ間の NDVI および iTVDI の比較
奨励賞	山本 弾	光質がリーフレタスの生育と抗酸化能へ及ぼす影響

(2) 2016 年度生態工学会特別功績賞候補者推薦について

2016 年度生態工学会特別功績賞につきまして、下記 1 名の会長推薦があり、表彰
規定 第 12 条に基づき理事会に提案、了承された。

記

1) 受賞候補者一覧

賞種類	氏名	対象件名
特別功績賞	竹内 俊郎	閉鎖生態系飼育システムに関する一連の研究 および学会活動に対する功績

以上

【広報委員会】

2015 年度広報委員会活動報告(2月期)

下記の報告がなされた。

・SEE Quick（メール配信）の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法の運用を通して、会員並びに関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ 2015 年 4 月 1 日から 2016 年 2 月 15 日まで
に 109 回（通算 1138 回）情報提供を行った。

・HP の内容の更新

HP 内の各コンテンツの確認・更新作業を行った。

以上

【事業推進委員会】

2015 年度事業推進委員会活動報告(2月期)

下記の報告がなされた。

「東日本大震災復興支援にかかわる植物工場技術支援について、2015年度年次大会でポスター発表（2件）をおこなった。

また、今後は震災復興（東北）に加えて、雪害（山梨県）や水害（茨城県）などの被災地域を支援範囲に含めていきたい。」

以上

【次世代科学社会活性化委員会】

2015 年度次世代科学社会活性化委員会活動報告(2月期)

男女共同参画学協会連絡会 分担金に関して、例年通り本年も支払う事が理事会にて承認された。

以上

【関東支部】

2015 年度関東支部活動活動報告(2月期)

下記の報告がなされた。

(1) 支部活動の活性化を図るため、6月に開催された年次大会の運営に協力した。

(2) 3月に開催予定の定例シンポジウムの運営に協力する。

以上

【関西支部】

2015 年度関西支部活動活動報告(2月期)

下記の報告がなされた。

- ・生態工学会関西支部シンポジウム報告

日 時：2015 年 12 月 5 日、14:00～16:45

場 所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター

農業気象学会近畿支部・生態工学会関西支部共催

生態工学会関西支部と農業気象学会近畿支部による合同シンポジウム

「気候変動とその生態系や私達の暮らしへの影響を考える(2)

—環境工学的アプローチによる CO2 排出削減技術—

演 題：

「環境にやさしいバイオマス利活用技術とバイオマス産業都市の動向について」

／ 土肥哲哉(一般社団法人日本有機資源協会)

「炭を使った農林業でのカーボンシンク」

／ 小川 眞 (日本バイオ炭普及会会長 大阪工業大学客員教授)

「環境工学分野における微細藻類の活用」

／ 河村耕史 (大阪工業大学工学部)

以上